

第4回意見交換会資料

都市計画道路浦和野田線

令和6年5月28日



埼玉県

- 1 意見交換会の趣旨
- 2 これまでの意見交換会開催状況
- 3 現在の検討状況と今後のスケジュール

浦和野田線の整備に関して、地元自治会や学校関係者等の地域代表者との意見交換を通じて、適切な対策案を検討していく。



ご意見を可能な限り取り入れ、
生活環境や自然環境に配慮した道路整備の実施

【ご注意いただきたい事項】

- この場は対策を検討していくものであって、決定するものではない。
- 最終的な対策の決定は、地域住民全体への説明を行った上で行う。

地域の住民の方々から多くのご要望をいただいている以下の4つの事項等をテーマとして意見交換を行っていきます。

生活道路の安全対策

生活道路が抜け道として使われることが無いよう、対策を図ること。

出津橋周辺の円滑な横断手法

文教大学生など現在でも歩行者・自転車交通が多い、出津橋の人流について、浦和野田線の整備による支障が出ないように、円滑な交通が図られる対策を行うこと。

生活環境(騒音等)対策

道路に教育施設や住宅等が近接するため、騒音等の対策を行うこと。

自然環境・景観対策

自然環境や景観に配慮した道路構造とすること

1. 令和5年5月17日 第1回意見交換会

第1回意見交換会では、会の設置に伴い、目的やテーマ、進め方について意見交換を行いました。

2. 令和5年7月27日 第2回意見交換会

第2回意見交換会では、道路計画の3Dモデル・イメージ動画の紹介、対策素案の相談、オープンハウス型説明会開催に関する周知を行いました。

3. 令和5年9月1日ほか オープンハウス型説明会

関係する地域の住民へオープンハウス型説明会を実施しました。
対策素案などに対して多くの意見をいただきました。

4. 令和6年2月13日 第3回意見交換会

第3回意見交換会では、オープンハウス型説明会の開催結果といただいた意見を踏まえた検討方針について報告し、意見交換しました。

第3回意見交換会資料

都市計画道路浦和野田線

令和6年2月13日



埼玉県

- 1 オープンハウス型説明会開催結果
- 2 ご意見等を踏まえた今後の検討方針
- 3 今後のスケジュール

1 オープンハウス型説明会開催結果

1. 開催目的

- 浦和野田線の道路整備にあたり、地域の方々から様々なご要望事項をいただいている。
- それらのご要望事項に対する対策素案を検討し、イメージ動画や説明資料にまとめたため、地域の方々にご提示させていただき、様々なご意見をいただくため、気軽に意見交換が行えるオープンハウス型説明会を開催した。
- ここでいただいた意見を踏まえながら、今後、対策案を詳細に検討していく。

2. 開催日時、場所、参加者

日にち	時間帯	対象地域	会場	参加者
令和5年9月1日 (金)	17:30～20:30	北越谷地区	北越谷地区 センター	36名
令和5年9月3日 (日)	10:00～12:00			49名
	13:30～16:30			39名
令和5年9月8日 (金)	17:30～20:30	荻島地区、 神明町2丁目	荻島地区 センター	中止*
令和5年9月10日 (日)	10:00～12:00			21名
	13:30～16:30			24名

* 台風の影響により中止とさせていただきました。

合計169名

【開催状況写真】



イメージ動画上映状況



対策素案パネル展示状況

3. 意見交換、意見書の受付等

- ・ オープンハウス型説明会当日は、道路の整備イメージ動画の上映及び、対策素案のパネル展示を行い、来場者と職員が意見交換させていただいた。
- ・ また、ご来場の方々からは、適宜、ご意見やご要望等を用紙にご記入いただき、ご来場できなかった方々からは、ホームページに掲載した当日の説明資料をご覧いただいた上で、後日、ご意見やご要望等をいただいた。

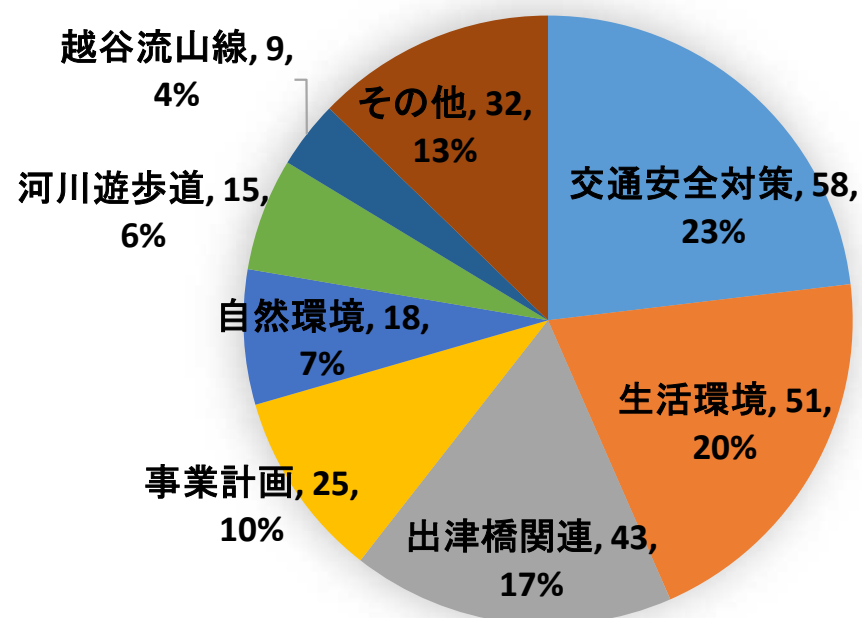
○意見書受付数(説明会当日) 54通

○郵送・メール受付数(後日) 8通

*このほか会場での意見交換によるご意見・ご要望を多数いただいた。

○意見数、分類、割合

- ・ 総意見数 251件
- ・ 右の円グラフは、分類分けをし、分類名、意見数、割合を示したもの。
- ・ 交通安全対策、生活環境、出津橋関連の順に意見が多かった。
- ・ その他には、冠水対策や走行イメージ動画に関する事などが含まれている。



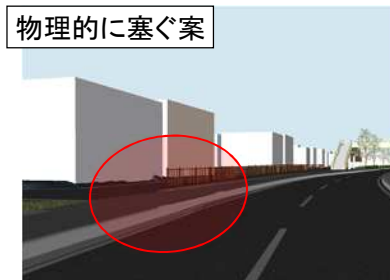
4. ご意見等の内容について

* お示しのご意見については、抜粋させていただいたものであり、すべての意見の総括的なものではございません。

①交通安全対策について

- 計画道路と生活道路との接続箇所は、可能な限り少なくし、物理的に塞いでしまう案が良い。
- 北越谷地区内の生活道路について、スクールゾーンの規制をかけるなど、児童の登下校の安全を十分に考えた対策をしてほしい。
- 浦和野田線は、カーブ等もあるので、全線的に植栽や防護柵を設けて、歩道の安全が確保されるような対策をしてほしい。
- 元荒川より西側の区間においても荻島小学校の通学路が横断する形となるため、十分な安全対策を検討してほしい。

物理的に塞ぐ案



スクールゾーン規制



ガードパイプ設置事例



出典：日鉄神鋼建材(株)カタログ

②生活環境対策について

- 騒音・振動軽減の観点から、植樹帯及び遮音壁の連続的な設置をお願いしたい。
- 家の目隠しの観点からも遮音壁の設置をお願いしたい。
- 道路から数10m離れた箇所や川の対岸側(荻島地区)でどのくらいの騒音レベルになるか教えてほしい。
- 車のライトが家に差し込むことを防ぐような対策をお願いしたい。
- 騒音軽減のためにも、車の制限速度を下げしてほしい。
- 北越谷小学校の近くを道路が通るため、子供たちの健康のため、排ガス対策をしてほしい。



出典: 積水樹脂(株)カタログ

速度規制看板



③出津橋関連について

- ・ 荻島地区住民にとって北越谷地区は必要生活圏である。そのため、高齢者や障害者等が安全に時間をかけずに横断できるような構造とすること。
- ・ 出津橋と横断歩道橋を一体化し、スムーズに浦和野田線を横断できるようにしてほしい。
- ・ スロープ長や階段数を少なくするため、半地下案としてほしい。
- ・ 高齢者等の昇り降りを考慮し、エレベーターを設置してほしい。
- ・ 浦和野田線の歩道を上げて、歩道橋に連続させられないか。
- ・ 文教大の入り口に近い箇所に新しい橋を架橋できないか。
- ・ 出津橋本橋について、今でもかなりの通行量があるため、幅を広げてもらいたい。
- ・ 出津橋に車を通せるような構造としてほしい。大間野南荻島線の延長線上に架橋すれば良いのではないか。
- ・ 出津橋が地域のシンボル・憩いの場となるよう橋上公園として整備してもらいたい。

スロープ+階段案



本線半地下案



出津橋(現状)



橋上公園事例(古利根公園橋(春日部市))



④自然環境、景観対策関連について

- 現在の景観・自然環境を出来るだけ維持する工夫をお願いしたい。
- 桜並木を植えられる箇所があるのであれば、整備してほしい。
- 大気汚染を防ぐためにも、植樹帯に樹木をびっしりと植えてほしい。
- 樹木については、落葉の心配のない常緑樹にしてほしい。
- 河川遊歩道が浦和野田線によって分断されないようにすること。その際、橋の部分でスロープを設けるのであれば、緩やかなものとする。
- 神明橋下流のように、河川の高水敷に遊歩道を整備してほしい。

元荒川の桜並木(現状)



植樹帯の事例(高木)



神明橋下流の遊歩道



⑤その他

- 越谷流山線の線形は、どうなるのか。歩道を整備してほしい。
- 道路が出来て冠水しやすくなってしまっている地区もあるので冠水対策をしっかりとしてほしい。
- イメージ動画は、どちらに進んでいるかもわからないし、スピードも速すぎるし分かりにくかった。立体模型等を造ってほしい。
- 今後、検討していく対策案についても住民に対してフィードバックしてほしい。
- 地域の人々の声を積極的に集めて話し合いを重ね、問題を解決してほしい

越谷流山線の整備イメージ



道路冠水事例



浦和野田線3Dモデル



2 ご意見等を踏まえた 今後の検討方針

* お示しする検討方針は、現時点のものであり、今後詳細な検討を行っていく中で、構造上の制約等の観点から変更になる可能性があります。

①交通安全対策について

- 浦和野田線と生活道路との接続部の処理については、主要な交差点を除き物理的に塞ぐ(接続させない)ことでその影響を検討する。
- 浦和野田線開通後の生活道路の状況を調査(通行量、危険箇所の確認、通学路の安全点検等)し、地区内の交通安全対策を具体的に検討する。
- 通学路の安全対策として、スクールゾーン(時間指定の車両通行禁止)や大型車規制、速度規制などを検討していく。
- 浦和野田線の歩道と車道等の間には、歩行者の安全確保の観点から、交差点も含め、連続的な植樹帯の設置又は、ガードパイプ等の設置を行うこととする。
- 荻島小の通学路が浦和野田線を横断する箇所において、横断施設(横断歩道橋等)の構造を複数案検討する。
- 大間野南荻島線の交通量が増加するため、信号機の設置や一時停止処理の変更等安全対策を検討する。

②生活環境対策について

- 植樹帯を全線的に設置することが、交通安全上（視認性等）問題ないか確認。
- 騒音対策として遮音壁を設置することについて、日当たりや出入り、目隠し効果、設置による防音効果などを踏まえ、遮音壁の仕様や高さ、配置計画等を検討する。
- 車両騒音の影響範囲（河川対岸側、道路から数十m離れた箇所、他道路との比較）を把握するための検討（シミュレーション）を行う。
- 速度制限の可能性の是非等を警察と協議していく。
- 排ガス対策として街路樹の配置計画、樹種等を検討する。

③出津橋関連について

- 出津橋本体及び浦和野田線を横断する施設について継続して検討。

具体的には、

半地下案、エレベーター設置案、出津橋一体化案、歩道嵩上げ案など

これらの案の複合等も考慮しながら、河川や道路の構造的な制約を踏まえたうえで、安全性、利便性に最大限配慮した構造を複数案検討していく。

- 出津橋本体の拡幅やデザイン等を検討していく。
- 出津橋に車両を通すことは、住環境への影響や出津側への通り抜け道路等が無いこと、元荒川堤防や浦和野田線との高さの制約等の観点から行わない方針とする。

④自然環境、景観対策関連について

- 街路樹の配置計画、樹種、新設堤防裏側への桜の植樹等を引き続き検討していく。
- 河川遊歩道の連続性確保の観点から、浦和野田線と交差する部分の構造を検討する。
- 河川高水敷への遊歩道整備の可能性を関係者と協議していく。

⑤その他

- 越谷流山線については、浦和野田線の前後区間については歩道整備を行う。
また、既存信号交差点の信号機の存続等について継続して警察協議を行う。
- 冠水対策として、雨水貯留施設の整備について検討する。
- これら検討内容を住民の皆様に周知する際には、3Dモデルやイメージ画像、動画等を用いて、分かりやすくなるように工夫する。

3 現在の検討状況と 今後のスケジュール

出津橋関連について

- 令和6年3月、河川や道路を横断する手法の検討を行う業務を契約。
- 検討にあたっては、下記の事項を念頭に実施する。

河川や道路の構造的な制約を踏まえたうえで、安全性、利便性に最大限配慮した構造を複数案検討していく。

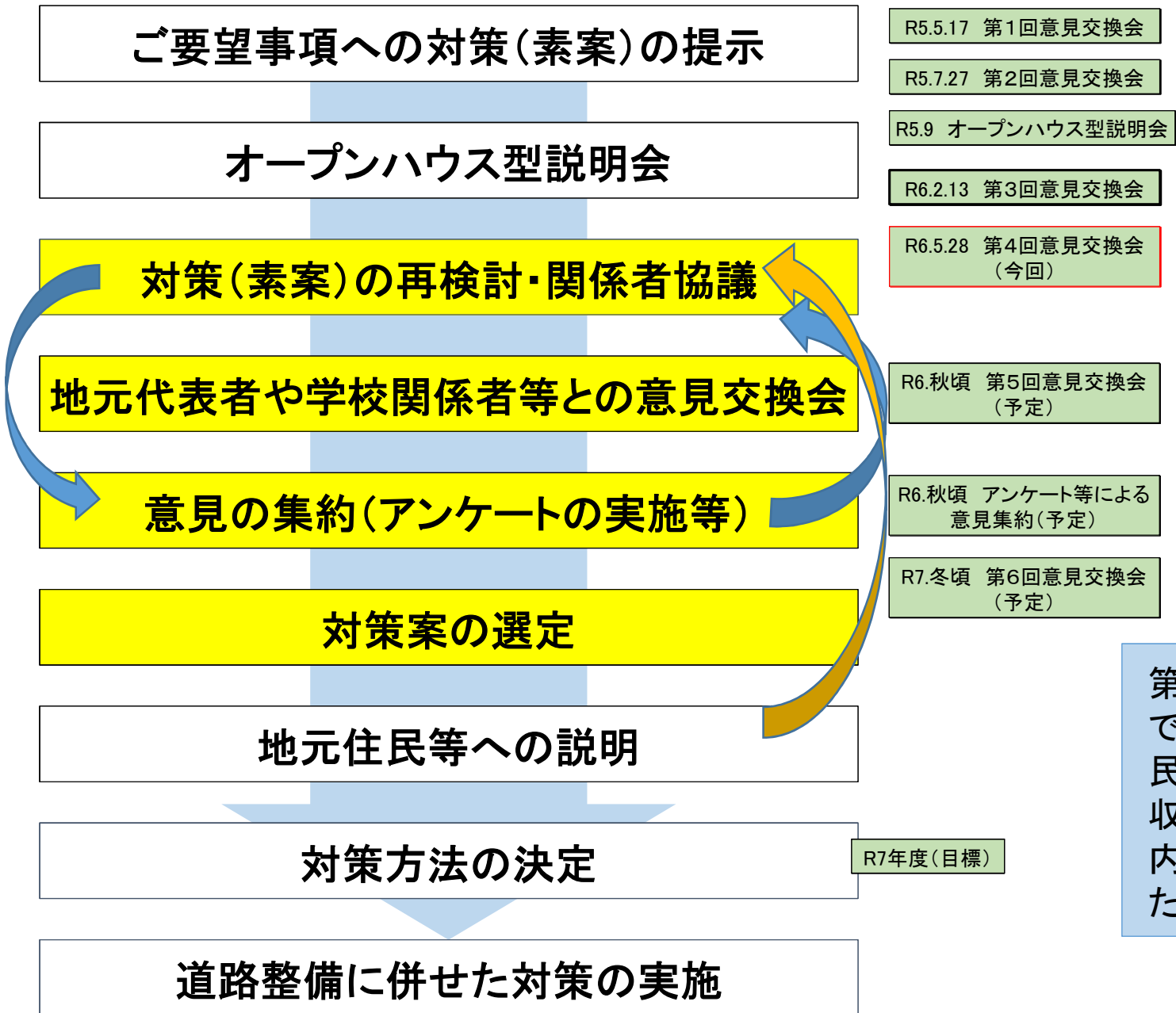
出津橋本体の拡幅やデザイン等を検討していく。

- 令和6年4月、元荒川の自然を守る会や関係自治会長、文教大学関係者、コンサルタント会社による合同打合せを実施。
- 出津橋付近における河川や道路の横断手法の検討を進めていくにあたり、配慮すべき事項などについて確認を行った。

生活環境対策について

- 令和6年5月、車両騒音の影響範囲(河川対岸側、道路から数十m離れた箇所、他の道路との比較)を把握する検討業務を契約。
- 検討にあたっては、下記の事項を念頭に実施する。
- 検討結果に基づき、騒音対策として遮音壁を設置することについて、日当たりや出入り、目隠し効果、設置による防音効果などを踏まえ、遮音壁の仕様や高さ、配置計画等を検討する。

今後のスケジュール（案）



第5回意見交換会では、検討結果を住民へ公開し、意見徴収するにあたって、内容の確認をしていただく予定。

【事業全般に関すること】

埼玉県越谷県土整備事務所 道路施設担当

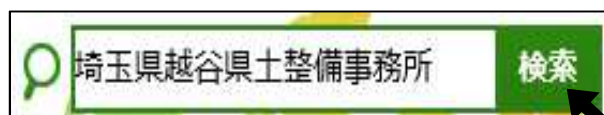
〒343-0813 越谷市越ヶ谷4-2-82

TEL : 048-964-5223 FAX : 048-960-1530

MAIL : q645221e@pref.saitama.lg.jp

ホームページ : <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1011/index.html>

PC用



クリック

モバイル用

